2015 年 12 月 1 日

各　　位

東京都港区虎ノ門四丁目 1 番 28 号
日本通信株式会社
代表取締役社長　福田　尚久
（コード番号：9424）
問合せ先　代表取締役常務　片山　美紀
電話 03-5776-1700

日本通信、ドコモ網とソフトバンク網での「2SIM ルータ」を発表

日本通信株式会社（以下、「当社」という）は、本日、当社のデュアルネットワーク戦略を実現する新製品第一弾「2SIM ルータ（トゥー・シム・ルータ）」を発売しました。2SIM ルータは、ドコモ網を主回線、ソフトバンク網を副回線として使うことで、主回線に何らかの障害が発生した場合、副回線に切り替わって通信を継続します。単独回線での通信に比較して飛躍的に信頼性を高めた通信サービスです。

IoT（モノのインターネット）や M2M 用途の無線通信サービスのニーズが急速に高まる中、当社がセキュリティの先進国である米国において ATM 向けに実績を誇る無線専用線（当社の特許技術を利用）が多数の引き合いを受けています。センサーネットワークとして現場の情報を収集することが主眼だった M2M 利用から、収集した情報、いわゆるビッグデータを活用して現場の機器類をコントロールする利用に移りつつあります。モノを確実にコントロールする必要性が高まるほど、通信の信頼性への需要も高まるのです。

以上のような背景から、セキュアかつ信頼できる無線通信サービスの要求を満たすデュアルネットワークの 2SIM ルータを発売しました。

2SIM ルータは、基本的にはエンド・トゥ・エンドの通信サービスとして疎通確認を行いながら動作し、所定の疎通確認が取れない場合には副回線に自動的に切り替わり、予め設定してある切替ロジックに基づき主回線に復帰します。主回線から副回線、及びその逆の切替は、使用目的に即して様々なロジックをリモートでプログラムできる柔軟性を備えています。

また、IoT 利用にあたっては、主体的利用者が自ら、あるいはシステムインテグレータを通してサービス全体のシステムを構築するケースが大半になっています。そのため、2SIM ルータが司っている通信状況を API として提供してほしいとのニーズが高く、当社はそのニーズに対しても積極的にお応えしていきます。

今日、日本においては ISDN 回線が約 350 万回線、法人向け専用線が約 140 万回線稼働しています。これらの合計 490 万回線が 2SIM ルータの当初のターゲットになりますが、昨今の IoT への様々な業界の取り組みを受け、既存の 490 万回線に加えて、はるかに大きな新規需要を見込んでおり、当社はパー

トナー企業と共に積極的な市場開拓を進めていきます。

デュアルネットワークサービスの想定価格は主回線及び副回線を、無線専用線として使う場合や、データ量等に応じる場合他、柔軟な料金体系としてパートナー企業を通してご提供します。

2SIM ルータの発売にあたり、当社代表取締役社長 福田尚久は、次のように語っています。
「企業のサイバーセキュリティへの関心、IoT への取り組みという二つの要素が、当社が米国で実績のある無線専用線へのニーズを急速に高めています。無線専用線に2SIM ルータを合わせることで、Secure & Reliable（セキュアで信頼できる）なソリューションを提供できることを嬉しく思います。来春には、「2Module ルータ（トゥー・モジュール・ルータ）」、これは２つの通信機を内蔵し、99.999%の稼働率を達成する新製品ですが、これを投入することで、お客様のニーズに合わせたデュアル・ネットワーク・ソリューションをお選びいただけるようになります。ご期待ください。」

■日本通信について
日本通信は 1996 年5月 24 日、モバイルが実現する次世代インターネットの可能性と産業構造に目を向け設立されました。当社ビジネスモデルはのちに MVNO と命名され、2009 年3月、総務省の携帯市場のオープン政策のもとNTT ドコモとの相互接続を実現しました。特許技術のネットワークセキュリティ、ネットワークを効率的に運用する先端技術やリアルタイムの認証技術、さらには MVNO ルールメーカ、世界初のモバイルインテグレータとしての強い技術ビジョンと高い遂行力によって、ユニークな通信サービスをつくりだしています。東京、米国コロラド州およびジョージア州に拠点を置き、東京証券取引所市場第一部に上場（証券コード：9424）しています。